

平成20年10月期 第3四半期財務・業績の概況（非連結）

平成20年8月29日

上場会社名 ファースト住建株式会社 上場取引所 大証二部
 コード番号 8917 URL <http://www.f-juken.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島 雄司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 伊木 雅則 TEL (06) 4868-5388

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年10月期第3四半期の業績（平成19年11月1日～平成20年7月31日）

(1) 経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年10月期第3四半期	25,153	△29.4	650	△78.4	569	△80.6	63	△96.4
19年10月期第3四半期	35,632	15.6	3,010	△2.3	2,939	△3.3	1,760	△1.7
19年10月期	46,497	—	3,490	—	3,419	—	2,022	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年10月期第3四半期	3	76	—	—
19年10月期第3四半期	104	15	—	—
19年10月期	119	69	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
20年10月期第3四半期	24,368		13,295		54.6	786	75	
19年10月期第3四半期	27,808		13,341		48.0	789	46	
19年10月期	28,790		13,604		47.3	804	99	

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年10月期第3四半期	904	△198	△3,285		6,181			
19年10月期第3四半期	3,297	△49	△2,621		8,284			
19年10月期	3,471	△62	△2,307		8,760			

2. 配当の状況

(基準日)	中間期末		期末		年間	
	円	銭	円	銭	円	銭
19年10月期	10	00	12	00	22	00
20年10月期	10	00	—	—	16	00
20年10月期 (予想)	—	—	6	00		

3. 平成20年10月期の業績予想 (平成19年11月 1 日 ~ 平成20年10月31日) 【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	32,000	△31.2	880	△74.8	800	△76.6	200	△90.1	11	83

4. その他

- (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(注) 詳細は、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際に業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報 をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、国内外経済の後退局面に対する懸念や原油価格の高騰などを背景として企業収益が減少する傾向をみせはじめ、また個人消費においても、消費者物価が緩やかに上昇している一方、企業収益の減退により所得は弱含んでいるため、消費者マインドの冷え込みが顕著に現れております。

このような環境の中、不動産業界におきましては、サブプライム住宅ローン問題が顕在化して以来、地価上昇の要因となっていた投資資金の流入が減少したことにより、最近の不動産取引価格は低下する傾向が表れ始めております。また、販売価格面では、消費者マインドの低迷により、購入可能価格が低下する傾向が生じております。そのため、従来までの地価が上昇していた時期に分譲用地の仕入を行った際に予定した販売価格に対し、現在の販売環境における販売価格が下回る状況となり、収益率が低下する要因となっております。一方、原油価格の高騰や素材価格の上昇により、近年建築コストが上昇いたしておりましたが、最近の不動産環境の厳しさから住宅着工棟数が減少しており、足許の外注費用は上昇傾向から横這い傾向となっております。しかしながら、依然として従来までの建築コストに比べると高い水準に留まっております。こうした厳しい環境の中、当社におきましても戸建分譲事業における販売棟数の減少や、利益率の低下といった影響が表れておりますが、当社ではこれらに対応するために、不動産価格の上昇局面で仕入を行ったたな卸資産在庫の販売を推し進め、完成在庫水準の低減を最優先課題として取り組むことで、不動産相場の下落局面に対応し、健全な財政状態の確保に努めております。また、販売価格の低下傾向に対応するため、分譲用地の仕入を行う際に綿密な情報収集を行い、今後の不動産市況の動向に即した適正な価格での仕入を行うことで、利益率の確保を目指してまいります。

これらの結果、当第3四半期における業績は、売上高 251億53百万円(前年同期比 29.4%減)、営業利益 6億50百万円(同 78.4%減)、経常利益 5億69百万円(同 80.6%減)、四半期純利益 63百万円(同 96.4%減)となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は243億68百万円、純資産は132億95百万円、自己資本比率は54.6%となりました。また、当第3四半期末における現金及び現金同等物は61億81百万円となり、前期末に比べて25億78百万円減少しております。

各キャッシュ・フローの状況と要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、9億4百万円となりました。主な要因は、税引前四半期純利益1億45百万円、たな卸資産の減少額19億78百万円、引当金の増加額3億32百万円、仕入債務の減少額8億74百万円、法人税等の支払額6億68百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、1億98百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出1億77百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、32億85百万円となりました。主な要因は、長期借入れによる収入5億円、短期借入金の純減少額33億95百万円、配当金の支払額3億63百万円であります。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成20年10月期の業績予想につきましては、第3四半期までの業績が概ね計画通り推移していることから、平成20年6月12日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

税金費用の計上基準については見積実効税率を使用しております。

(2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5. (要約) 四半期財務諸表

(1) (要約) 四半期貸借対照表

(単位：千円未満切捨, %)

科目	前年同四半期末 (平成19年10月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年10月期 第3四半期末)	増減		(参考) 前期末 (平成19年10月期末)
	金額	金額	金額	増減率	金額
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	8,284,260	6,181,042	△2,103,218	△25.4	8,760,041
2. たな卸資産	18,254,090	16,833,764	△1,420,325	△7.8	18,799,605
3. 前渡金	267,644	139,891	△127,753	△47.7	188,093
4. その他	159,836	247,198	87,361	54.7	177,735
流動資産合計	26,965,832	23,401,895	△3,563,936	△13.2	27,925,476
II 固定資産					
1. 有形固定資産	719,119	871,364	152,245	21.2	737,719
2. 無形固定資産	31,906	43,212	11,305	35.4	35,161
3. 投資その他の資産	91,740	52,485	△39,255	△42.8	92,305
固定資産合計	842,766	967,062	124,295	14.7	865,186
資産合計	27,808,599	24,368,958	△3,439,640	△12.4	28,790,662
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 支払手形	390,010	287,700	△102,310	△26.2	444,520
2. 支払信託	1,866,290	1,576,280	△290,010	△15.5	1,889,710
3. 工事未払金	2,068,491	1,745,995	△322,495	△15.6	2,150,352
4. 短期借入金	9,261,000	6,190,000	△3,071,000	△33.2	9,585,000
5. 1年以内に返済予定 の長期借入金	—	100,400	100,400	—	—
6. 未払法人税等	303,576	32,701	△270,874	△89.2	533,000
7. 前受金	167,512	132,469	△35,042	△20.9	125,928
8. その他	380,858	592,211	211,352	55.5	426,598
流動負債合計	14,437,738	10,657,757	△3,779,980	△26.2	15,155,109
II 固定負債					
1. 長期借入金	—	372,800	372,800	—	—
2. 退職給付引当金	29,305	42,608	13,302	45.4	31,505
固定負債合計	29,305	415,408	386,102	1,317.5	31,505
負債合計	14,467,044	11,073,166	△3,393,878	△23.5	15,186,614
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金	1,584,000	1,584,000	—	—	1,584,000
2. 資本剰余金	1,338,350	1,338,350	—	—	1,338,350
3. 利益剰余金	10,419,842	10,374,117	△45,725	△0.4	10,682,372
4. 自己株式	△637	△674	△37	5.9	△674
株主資本合計	13,341,555	13,295,792	△45,762	△0.3	13,604,047
純資産合計	13,341,555	13,295,792	△45,762	△0.3	13,604,047
負債、純資産合計	27,808,599	24,368,958	△3,439,640	△12.4	28,790,662

(2) (要約) 四半期損益計算書

(単位：千円未満切捨，%)

科目	前年同四半期 (平成19年10月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年10月期 第3四半期)	増減		(参考) 前期 (平成19年10月期)
	金額	金額	金額	増減率	金額
I 売上高	35,632,341	25,153,991	△10,478,350	△29.4	46,497,357
II 売上原価	30,586,812	22,817,380	△7,769,431	△25.4	40,278,082
売上総利益	5,045,529	2,336,610	△2,708,918	△53.7	6,219,274
III 販売費及び一般管理費	2,035,350	1,685,625	△349,725	△17.2	2,728,426
営業利益	3,010,179	650,985	△2,359,193	△78.4	3,490,848
IV 営業外収益	2,799	7,492	4,693	167.7	32,741
V 営業外費用	73,947	88,952	15,004	20.3	103,959
経常利益	2,939,030	569,526	△2,369,504	△80.6	3,419,629
VI 特別利益	50,800	4,810	△45,990	△90.5	50,800
VII 特別損失	—	428,713	428,713	—	—
税引前四半期 (当期) 純利益	2,989,830	145,622	△2,844,207	△95.1	3,470,429
税金費用	1,229,640	82,086	△1,147,553	△93.3	1,447,709
四半期 (当期) 純利益	1,760,190	63,536	△1,696,653	△96.4	2,022,720

(3) (要約) 四半期株主資本等変動計算書

当四半期 (自 平成19年11月 1 日 至 平成20年 7 月31日)

(単位：千円未満切捨)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
平成19年10月31日 残高	1,584,000	1,338,350	10,682,372	△674	13,604,047	13,604,047
四半期中の変動額						
剰余金の配当	—	—	△202,795	—	△202,795	△202,795
剰余金の配当 (中間配当額)	—	—	△168,996	—	△168,996	△168,996
四半期純利益	—	—	63,536	—	63,536	63,536
四半期中の変動額合計	—	—	△308,255	—	△308,255	△308,255
平成20年 7 月31日 残高	1,584,000	1,338,350	10,374,117	△674	13,295,792	13,295,792

(4) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円未満切捨)

	前年同四半期 (平成19年10月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年10月期 第3四半期)	(参考) 前期 (平成19年10月期)
区分	金額	金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期 (当期) 純利益	2,989,830	145,622	3,470,429
減価償却費	37,852	39,168	52,725
引当金の増減額 (減少：△)	△54,592	332,994	△48,792
受取利息及び受取配当金	△565	△749	△832
支払利息	73,235	68,235	99,748
投資有価証券評価損	—	39,999	—
たな卸資産の減少額	2,669,910	1,978,610	2,103,663
前渡金の減少額	419,455	48,202	499,006
その他流動資産の減少額	535	12,816	7,218
仕入債務の減少額	△781,293	△874,607	△621,502
前受金の増減額 (減少：△)	△54,840	6,541	△96,425
その他流動負債の増減額 (減少：△)	38,070	△160,666	86,677
その他	△22,728	4,607	△17,914
小計	5,314,870	1,640,777	5,534,003
利息及び配当金の受取額	565	749	832
利息の支払額	△73,716	△67,877	△100,087
法人税等の支払額	△1,944,360	△668,848	△1,963,029
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,297,358	904,800	3,471,718
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△35,975	△177,647	△46,333
その他	△13,891	△20,484	△15,772
投資活動によるキャッシュ・フロー	△49,866	△198,132	△62,105
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純減少額	△2,294,000	△3,395,000	△1,970,000
長期借入れによる収入	—	500,000	—
長期借入金の返済による支出	—	△26,800	—
配当金の支払額	△327,530	△363,867	△337,832
その他	△42	—	△79
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,621,572	△3,285,667	△2,307,912
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—	—
V 現金及び現金同等物の増加額 (又は減少額)	625,919	△2,578,999	1,101,700
VI 現金及び現金同等物の期首残高	7,658,340	8,760,041	7,658,340
VII 現金及び現金同等物の期末残高	8,284,260	6,181,042	8,760,041